

1. 活動の概要

6月2日(木)、松江市立大野小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。学校周辺の遺跡について学ぶという事で、過去に松江市教育委員会が調査された丁の坪遺跡(旧大野中学校周辺)について土器を見ながら学びました。隣接する秋鹿地区の大垣大塚古墳出土の埴輪の大きさ、古曾志大谷1号墳の土器の実物を興味深く見学しました。

次に、低融点金属を使って古代鏡作りを体験しました。最初に鏡の説明を聞き、実際に金属をとかして鋳型に流し込み、鏡を磨く作業を熱心に行いました。サンドペーパーで鏡を磨く作業を始めると、みんな熱心に取り組んでアツという間に時間が過ぎていきました。

最後に青銅器について学びました。青銅器が何に使われたものなのか、銅鐸の音を鳴らしたり、銅剣を実際に持つことで重さを感じながら古代の人々の暮らしを感じることが出来ました。

2. 活動の様子

1)「青銅器」について学ぶ・大野地区の遺跡について知る



鋳型から鏡をとりだすところ



一生懸命鏡を磨いています

2)古代体験活動～はにわ作り～



「銅鐸を持ち上げてみます」



「銅剣の大きさ、重さを感じてみます」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・大野には遺跡がないと思っていたけど遺跡があることがわかった。
- ・鏡を頑張ってみがいていたら結構光ったので楽しかった。
- ・銅鐸、銅剣が意外と重たかった。

2)担任の先生から…

- 大野地区の遺跡について出土した土器を見ながらの説明でわかりやすかった。。
- 金属鏡づくりは、児童の興味関心を高めるうえでよい教材であった。
- 土器、埴輪の実物がみられたことがよかった。

3)埋文センターから

大野地区の遺跡について学ぶという事で過去に調査された松江市教育委員会から遺物を借りて持って行けたことが良かったと思います。地元には遺跡が無いと思われていたようで、皆さん驚いていました。

青銅器は実際に持ち上げることで重さを感じたり、銅鐸の音色を聴いてもらうという体験が良かったようです。

鏡づくりでは実際に金属を溶かし、鋳型に流し込み、固まった鏡を磨くという一連の作業が興味深くできたようです、ただし磨く作業に意外と時間を要し最後の仕上げまでできませんでした。もうすこし時間に余裕をもって作業が出来ると良かったかと思われました。